

日本物理学会 領域2 運営会議 議事録案

日 時：2025 年 9 月 17 日（水）12:15~13:15

会 場：広島大学 経済学部講義棟 B159 教室

参加者：24 名（運営委員 8 名含む）

議事録：安部

報告・議論事項

- 1) 2025 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 代議員候補者の推薦（第 82~第 83 期）
- 3) 春季大会の学生賞受賞者
- 4) 若手奨励賞候補者
- 5) 領域委員会（2025 年 6 月 12 日）報告
- 6) 2026 年オンライン春季大会でのシンポジウム等の提案
- 7) 領域 2 講演数の推移
- 8) 領域のあり方と現状の課題
- 9) 第 7 回米沢富美子記念賞
- 10) 第 1 回かどで賞
- 11) 80 周年記念国際シンポジウム開催のお知らせ
- 12) その他

議事内容

- 1) 2025 年 10 月以降の役員体制，役割分担
【役員体制（2025.10~2026.09）】
領域代表：比村治彦（京都工繊大）
領域副代表：江尻晶（東京大）
領域前代表：長崎百伸（京都大）
役員：徳澤季彦（核融合研），松山顕之（京都大），安部勇輝（大阪大）
運営委員：岩田夏弥（大阪大），大石鉄太郎（東北大），川面洋平（宇都宮大），
辻井直人（東京大），金史良（京都大），古賀麻由子（兵庫県大）

【2026 年 4 月からの代表・副代表】

- 領域代表：江尻晶（東京大），
領域副代表：藤岡慎介（大阪大）

2) 代議員候補者の推薦（第 82～第 83 期）

代議員の役割は総会と臨時総会に出席し、議決権を行使（委任も可）。

2 年に 1 度の会長候補者の選出がある。領域 2 から 4 名の代議員候補の推薦が可能。

代議員は任期 2 年。2 回まで再任可（最大 4 年間継続可能）。

- 比村（2 回目）、江尻（2 回目）、藤岡（1 回目）の 3 名内定。
- あと 1 名募集中。

3) 春季大会の学生賞受賞者

以下 5 名を受賞者に選出、領域 2 HP に掲載済み。

竹中 健翔（京大エネ科）

「大域的ジャイロ運動論シミュレーションによる実配位における微視的不安定のベータ値依存性解析」

酒井 彦那（九大総理工）

「乱流抑制を目指した乱流信号のリアルタイム制御」

高橋 夢翔（東北大工）

「トカマク炉におけるシンクロトロン放射を利用したプラズマ電流駆動の解析」

木内 康一（東大院工）

「相対論的透過機構による高効率イオン加速機構のダイナミクスとプラズマ開口からの放射との系統的關係」

小川 瑛仁（京都工繊大）

「電子プラズマ渦の合体過程の観測」

4) 若手奨励賞候補者

39 歳以下の 6 名から応募あり。

審査委員会において 2 名の候補者を選出、理事会に報告する。

最終審査は理事会で行うが、否決された事例はない。

今回、候補者から漏れた 4 名については、来年度も応募してもらうよう依頼する。

5) 領域委員会（2025 年 6 月 12 日）報告

領域 Web ページの日英併記の推奨。

若手奨励賞や学生優秀発表賞の募集等に関して、外国人会員に案内が行き届かない現状の改善が目的。

領域 2 もできるところから対応中。

6) 2026年オンライン春季大会でのシンポジウム等の提案

10月20日(月)までに役員会へ提案募集

- 招待講演：応募無し.
- 企画講演：応募無し.
- シンポジウム：応募無し
- 若手奨励賞受賞記念講演（2件予定）
- 領域代表からの提案
「スクーリング・ネットワーク事業 Fusion Science School」との連携
会合名：「核融合科学の魅力」市口先生より
日時：9/18 12:30-13:15 にキックオフ企画として開催.
今後、年次大会のチュートリアル講演枠での開催も検討.

応用物理学会は参加別料金でチュートリアル講演を開催しているので、同様の開催形式を検討してもいいのではないかと。→物理学会はもともとチュートリアル講演の枠組みがあり、学会の予算措置もあるので、これを利用したい。

7) 領域2講演数の推移

第80回年次大会（2025年秋）は講演数110件。2025春は98件、2024年秋は95件に比べれば増加したが、10年前の半数程度。

プラズマ・核融合学会の講演数は580件ほどあるので、もう少し増やしたい。

- NIFS, QSTの参加者が少ないのが問題。積極的に参加を呼びかけるべき。
- オンライン開催も減少傾向。

8) 領域のあり方と現状の課題について

当初は5年を目途に領域構成を再検討することとなっていたが、実行されずに今日に至っている。特に、物性分野の一部領域から運営に支障をきたしているという声があり、今後の検討材料にすべく物性関連領域（領域1～12）から意見を募ることとなった。後日メールで案内。随時意見を受け付ける。

- 運営に支障があるかどうか
- 領域の組み換え（講演数が少ない分野の統合など）
- 領域2の課題（NIFS, QSTからの参加者が少ない、博士過程の学生が少ない）
- その他、領域制に関する意見

9) 第7回米沢富美子記念賞

領域2から2名を上限として受賞候補者を推薦。現在1名のキャリアオーバーがあり、あと1名推薦できる。

- 10月17日(金)締め切り。(応募書類提出先：領域2副代表 江尻晶)
- 女性会員で最終学位取得後15年以内

10) 第1回かどで賞

受賞候補者を推薦。

- 12月12日(金)締め切り
- 応募詳細は一般財団法人かどで会HP
- キャリア形成期にある若手研究者が対象
- 物性物理(プラズマ含む)及び関連分野の研究に関して、学位取得前または学位取得後6年以内に公表された第一著者論文を評価
- 独創的な研究手法の開拓や新規の研究テーマの提案を通じた上記分野への貢献度を審査。(新たな実験装置や測定手法の開拓、新奇な物質やデバイスの開発、独自の理論モデルや計算手法、解析手法の提案など)
- 自薦・他薦不問
- 表彰：原則1件。

11) 80周年記念国際シンポジウム開催(全領域)のお知らせ

- 2026年9月13日@東京大学駒場キャンパス(年次大会の前日, 同会場)
- 国際的に活躍する研究者10名ほどの招待講演を中心に構成
- 人選・参加登録の詳細は実行委員会で検討中。
- 第81回年次大会でも本シンポジウムと関連したサテライトシンポジウム(国際シンポジウム, 4件程度, 全領域)を企画。各領域に協力依頼。
 - ① 2026年3月までにサテライトシンポのプログラム案を決定。
 - ② 各領域から内容の重複するシンポジウムを企画しないよう注意。

12) その他

領域2懇親会, 鈴木・難波研究室ツアーの案内